

開講年度 (Year)	授業コード (Class Code)	シラバス番号 (Syllabus NO.)	授業形態 (Style of Class)		科目ナンバリング (Course Numbering Code)
2024	10400000	621	講義・ 遠隔		EDU-15-10400000
単位数 (Credit)		履修期間 (Semester)	曜日 (Day)	時限 (Period)	開講学部 (Department)
2.00 単位		前期	水	5	学部・2部
職名 (Lecturer's Title)		教員名 (Lecturer's Name)			
		林 範彦、藤井 隆雄、森谷 文利、前村 奈央佳、関 陽介、芝 勝徳			
科目名 (Course Title)		キャンパスライフ入門 (Introduction to Campus Life)			授業名
科目区分 (Classification)		全学共通科目 (自然・人間科学領域)			
履修制限 (Registration Restriction)					
主題と目標 (Theme and Objectives of Class)		<ul style="list-style-type: none"> ・本科目は、2024年度の新入生全員を対象とする必修授業です。また、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム (KCUFS DASH)」を修了したい2~4年生も履修する必要があります。 ・2023年度以前に入学された方も履修登録・受講していただくことが可能です。 <p>【主題】大学における学びを効果的に進めるためには、様々な知識や技術、さらにはものの見方や規範等を新しく修得してゆくことが必要になります。そのうち初年次から不可欠なもの、特に本年度から情報科学分野の基礎を中心に学修し、本学における学びの基礎的な資質を育ててゆきます。</p> <p>なお各授業は本学の教職員が担当します。各回の授業タイトルのあとの()内がその回の担当者です。</p> <p>【到達目標】授業で扱われた本学での学びの基盤となる知識、技術、ものの見方や規範等を十分に理解し習得している。</p>			
評価の方法・基準 (Evaluation)		<ul style="list-style-type: none"> ・各授業への参加や指定された課題の提出状況から本授業の内容の理解度と習得度を総合的に判断し、合格した人に単位を認定します。 ・原則として全15回の授業すべてに参加し、かつ、各回定められた提出物を提出した受講生を成績評価の対象とします。 ・単位認定科目なので、単位を取得できた場合は「認定」となります。他の多くの科目のようにそれ以上の詳しい評価をすることはありません。 ・以上の詳細は初回ガイダンスで説明します。 			
履修にあたっての注意 (Information about Classwork)		<ul style="list-style-type: none"> ・2024年度に入学した新入生全員の必修科目です。 ・受講生が多数に上るため、オンライン授業を活用する予定です。 ・各回の実施日時、オンライン授業の場合の受講法等は、別途、GAIDAI PASSを通じ履修登録者に連絡します。 ・2024年度入学生への課題として、TOEIC IPの試験を受験していただきます。スコアは評価に加味しませんが、課題として取り扱いますので受験の有無は評価に影響します。また「各学科での学び」の動画を視聴いただき、レポート課題を提出していただきます。 ・各回の内容はオンデマンドで提供されますが、GAIDAI PASSで指示される通り、指定された期間にかならず視聴してください。 			
教科書 (Textbook)		特に使用しません。			

指定図書 (Reference Materials)	全体としては特にありません。各回の授業で紹介される書籍等を参照してください。
講義内容 (Description and Schedule)	<p>4/10 (水) 第1回 ガイダンス (TOEIC IP の受験について／各学科での学びについて) (林 範彦)</p> <p>4/17 (水) 第2回 コンピュータ・ネットワーク活用法 メール、ソーシャルメディアの活用 (芝 勝徳)</p> <p>4/24 (水) 第3回 論文・レポートに関するマナー教育 (林 範彦)</p> <p>5/8 (水) 第4回 就職活動等キャリア形成への支援 (中村 嘉孝)</p> <p>5/15 (水) 第5回 社会における変化を捉える：データとは (前村 奈央佳)</p> <p>5/22 (水) 第6回 データを使った研究法の基礎 (前村 奈央佳)</p> <p>5/29 (水) 第7回 情報科学のための数学の基礎 (1) 1変数の記述統計 (森谷 文利)</p> <p>6/5 (水) 第8回 情報科学のための数学の基礎 (2) 仮説検定 (森谷 文利)</p> <p>5/12 (水) 第9回 情報科学のための数学の基礎 (3) 2変数の統計：共分散・相関係数 (藤井 隆雄)</p> <p>6/19 (水) 第10回 経済学におけるデータ活用例 2変数の統計：回帰分析 (最小二乗法) (藤井 隆雄)</p> <p>6/26 (水) 第11回 言語学におけるデータ活用例 (林 範彦)</p> <p>7/3 (水) 第12回 データ・AI の活用領域 人文科学におけるデータ活用例 (関 陽介、芝 勝徳)</p> <p>7/10 (水) 第13回 社会におけるAI の利活用 データ・AI 利活用の最新動向 (関 陽介)</p> <p>7/17 (水) 第14回 データ・AI を扱う上での留意事項 (関 陽介)</p> <p>7/24 (水) 第15回 データを守る上での留意事項 (芝 勝徳)</p>
事前・事後学習 (Preparation & Review)	各回で示される課題などを通じて、特に事後の復習に努めてください。
使用言語 (Classroom Language) : 講義 (Lecture)	主として日本語。
使用言語 (Classroom Language) : 教材 (Materials)	主として日本語。
使用言語 (Classroom Language) : テスト・課題・レポート (Test, Assignment, Reports)	テスト・課題・レポートについては、授業時の指示に従ってください。
使用言語 (Classroom Language) : ディスカッション・プレゼン等 (Presentations, etc.)	主として日本語。
ディプロマ・ポリシーとの関係 (Relationship to the Diploma Policy)	DP1 : 能動的に学ぶ力
備考 (Others)	

開講年度 (Year)	授業コード (Class Code)	シラバス番号 (Syllabus NO.)	授業形態 (Style of Class)		科目ナンバリング (Course Numbering Code)
2024	10170001～ 10170007	623～627 1429・1430	演習・対面		INF-10-10170001～7
単位数 (Credit)		履修期間 (Semester)	曜日 (Day)	時限 (Period)	開講学部 (Department)
2.00 単位		後期			学部・2部
職名 (Lecturer's Title)		教員名 (Lecturer's Name)			
准教授		関 陽介			
科目名 (Course Title)		データサイエンス入門 Introduction to Data Science			授業名 A～G
科目区分 (Classification)		全学共通科目 (自然・人間科学領域)			
主題と目標 (Theme and Objectives of Class)		<p>本科目は 2024 年度の新入生全員を対象とする必履修授業です。また、「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム (KCUPS DASH)」を修了したい 2～4 年生も履修する必要があります。</p> <p>【主題】 現代社会では専門分野を問わず、データを処理するための統計学や人工知能、プログラミング等の知識や技術が求められています。この授業では講義と実習を通してこれらの基礎知識や技術を身につけることを目的とします。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ データサイエンスの基礎知識や技術に関して説明することができる。 ・ データサイエンスに関する実用的な手法を活用することができる。 			
評価の方法・基準 (Evaluation)		<ol style="list-style-type: none"> 1. 課題作成：最大 35 点 2. 授業への取り組み状況：最大 35 点 3. 期末試験：最大 30 点 <p>※上記の各項目における合計点で評価します。評価基準として合計点を 60 点以上取ることが単位取得として必要になります。</p>			
履修にあたっての注意 (Information about Classwork)		この授業では講義と実習 (Excel・Python) を行い、プログラミング環境は Google Colaboratory を使用します。生成 AI に触れるために無償のサービスも利用する予定です。			
教科書 (Textbook)		教科書はありませんが講義で使用するスライドは履修者に限定して公開する予定です。			
指定図書 (Reference Materials)		特に使用しません。			
講義内容 (Description and Schedule)		第 1 回 データサイエンスとは 第 2 回 データ処理の手法 第 3 回 データの要約 第 4 回 データの比較 第 5 回 確率と統計 第 6 回 データの可視化 第 7 回 データ分析 第 8 回 モデリング 1			

	<p>第9回 モデリング2</p> <p>第10回 人工知能とその技術</p> <p>第11回 プログラミング</p> <p>第12回 自然言語処理</p> <p>第13回 生成AI</p> <p>第14回 データ分析の応用</p> <p>第15回 期末試験とまとめ・解説</p> <p>※状況により一部内容を変更する可能性があります。</p>
事前・事後学習 (Preparation & Review)	事前学習は特に必要ありませんが、この授業で扱う内容の多くは研究活動や社会で必ず求められる知識や技術であるため、不明点があれば復習をしてください。
使用言語(Classroom Language) : 講義(Lecture)	日本語
使用言語(Classroom Language) : 教材 (Materials)	日本語
使用言語(Classroom Language) : テスト・課題・レポート (Test, Assignment, Reports)	テスト・課題・レポートについては、授業時の指示に従ってください。
使用言語(Classroom Language) : ディスカッション・プレゼン等 (Presentations, etc.)	日本語
授業に関する実務経験 (Related Work Experience)	プログラミングや人工知能の技術を用いてシステム開発や運用を長年行ってきたため、特に情報処理に関する実務経験が豊富です。
ディプロマ・ポリシーとの関係 (Relationship to the Diploma Policy)	DP1 : 能動的に学ぶ力
備考 (Others)	